

令和3年度 牛山小学校 学校評価

1 学校評価活動計画について

本校では、近年、学校評議員会において学校の教育方針等を示し、学校の教育活動や児童の実態などを紹介して、それに対する評価をお願いして来ている。今年度は、コミュニティスクールを視野に入れ、学校評議員会を学校関係者評価委員会と位置づけて学校評価を行うこととした。

(1) メンバー

- ・元PTA（女性）2名 ・牛山区役員（男性） ・自治会長（男性）
- ・校長 ・教頭

(2) 本校の教育目標と重点努力目標

<教育目標>

自らのよさに自信をもち、主体的に粘り強く課題に取り組むとともに、心身共に健やかな児童を育成する。

<重点努力目標>

ア 学ぶ意義や楽しさに触れることのできる質の高い学びを目指す。

イ 人との交わりを大切にしたい、望ましい人間関係の確立を図る。

ウ 家庭・地域・学校が果たす役割を考え、相互の連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

エ 交通安全・防災・防犯意識の向上を図る。

オ 業務内容を見直し、教職員にとって健康で働きがいのある職場づくりに努める。

(3) 評価の手立て

ア 現職教育、教職員の自己評価、年度末反省、アンケート

イ 生徒指導、教職員の自己評価、年度末反省、アンケート

ウ 業務全般、PTA活動、アンケート

エ PTA活動、牛山区見守り隊の活動、年度末反省アンケート

オ 教職員の自己評価、年度末反省

(4) 年間計画

4月 学校の方針決定 授業参観の保護者アンケート

5～6月 現職教育の実践 各種活動

7月 第1回学校評価委員会

9月 現職教育の実践 各種活動

10月 保護者アンケートの実施

11月 現職教育の実践 各種活動

12月 第2回学校評価委員会

1月 教員の自己評価 保護者アンケートの実施

2月 アンケートの分析

3月 第3回学校評価委員会

2 第1回学校評価委員会（意見交換等）

(1) 学校評価活動についての方針

校長からのあいさつのなかで本校の教育目標と重点努力目標が示され、特に「信頼される学校」「重点努力目標」「働き方改革」に向けて学校づくりを行うこと、今年も新型コロナウイルス感染症が心配であるので、対策を講じたうえで行事を執り行っていくことを説明した。

そして、この学校評価委員会の場で、これからも学校の現状、問題点、対処や対策などを示すので、どんなことでも遠慮せず助言、感想を述べてほしいということが確認された。学校は、それを学校業務の改善に役立てるために評価として活用することを説明した。

その後に教育活動や行事の経過を報告し、質問を受けた。本年度は、昨年度のような長い休校措置がなく、学校が本来の姿を取り戻しつつあることを素直に喜ぶ意見が多かった。他に、

- ・ 職員の研修（現職教育）については、教科の本質的な楽しさと子どもたちの学びがつながるよう実践や研究に取り組む
- ・ 新型コロナウイルス感染症がきっかけになって、クロームブックの使用が始まった。今後は学習の手段として益々重要度が増すので、職員も研修を積む必要がある
- ・ いじめのないよう普段から気をつけて子どもを観察し、1学期に生活アンケートを実施する。そのうえで教育相談を行う。職員の帰りの打ち合わせでは、毎回、生徒指導について情報交換する。地域については毎月行う補導連絡会で少年指導員の方たちと情報交換をする。
- ・ 虐待については、職員がお互いアンテナを高くし、早期発見に努める。子ども政策課と連絡を取り合い、S CやS S W等と連携する。家庭生活の状況把握は民生委員等の助力を仰ぐ。
- ・ 牛山区子ども見守り隊とP T A（地区委員長）が連携し、見守りデーに見守り活動を展開する。通学路等に関する情報交換を常に行う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を機会に、学校行事の状況を把握し、感染がおさまった後の実施について見通しをもつ。
- ・ 6月に千葉県で児童の登下校中に交通事故が発生したため、通学路点検を継続して実施し、子どもたちにも注意を促す。

(2) 問題点と課題

4月（例年実施の5月は予めなし）の授業参観が中止となり、保護者向けアンケートを実施できなかった。保護者からも2年生は入学してから授業参観がまだ1度もないことを残念がる声があった。委員からも残念という話は出たが、感染防止には必要な処置であると理解を示していただいた。

運動会についても予断を許さない状態ではあるが、今年度も授業参観方式ではあるものの全校で行う予定であること、状況によっては昨年度のように2部制にする可能性はあることを伝え、肯定的な励ましをいただいた。

いずれにしても、新型コロナウイルス感染症の状況を注意深く鑑みて、有意義な授業や行事とな

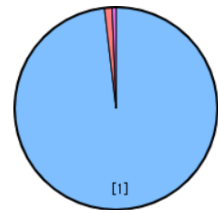
るよう努力していくことが確認された。

3 (運動会)の保護者アンケート

(1) 例年のような大運動会は開催できなかったが、今年度は全校そろっての運動会（授業参観方式）を実施できた。保護者には以下のようなアンケートを実施した。学校評価ということで、子どもや教育活動に関係したりすることのみ上げる。

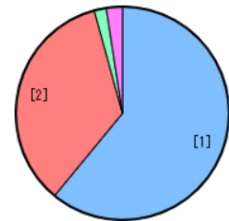
① 子どもたちは真剣に取り組んでいましたか。

- 1 ほとんどの子どもたちは真剣に取り組んでいた。
- 2 半分以上の子供たちが真剣に取り組んでいた。
- 3 真剣に取り組んでいる子どもたちが少なかった。
- 4 よくわからない



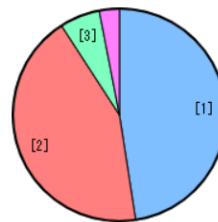
② 子どもたちがスムーズに、安全に活動できるように、教師の指導や声かけ等は適切でしたか。

- 1 十分適切であった
- 2 おおむね適切であった
- 3 心配な場面があった
- 4 よくわからない



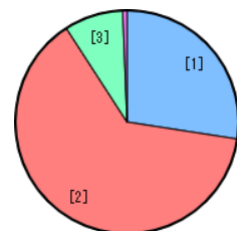
③ コロナ感染症について、子どもたちや保護者の安全のために、学校の対応は適切でしたか。

- 1 十分適切であった
- 2 おおむね適切であった
- 3 心配な場面があった
- 4 よくわからない



④ 運動会のプログラムは満足いくものでしたか。

- 1 十分満足できた
- 2 おおむね満足できた
- 3 不満が残った
- 4 よくわからない



(2) 結果の職員とPTA全委員会への公表

- ・保護者には概ね好意的に受け入れられた
- ・児童は真剣に取り組んだという手ごたえがあった
- ・教師の指導も概ね適切であった
- ・新型コロナ感染の対策については改善の余地はあるが概ね良かった
- ・プログラム等内容もこの状況下を考えると概ね肯定的に受け入れられたととらえている。

そして、以下のような学校への匿名の励ましのメールも何通か入った。これらも学校の教育活動への理解を示してくれていると思うので掲載しておく。

10月15日、コロナが、まだ終息してない中、運動会の開催、誠に、ありがとうございます！色々な行事がなくなる中、先生方も、かなりのご苦勞があったと思います。子供達に新たな思い出のページが、できました！本当に、ありがとうございます！心より感謝致します！

今日の運動会、凄く嬉しく思いました。先生の努力、生徒達の声援、楽しそうな顔。短縮でしたが、去年より遥かに楽しそうに見えました。大人より、我慢我慢の学校生活！少しでも伸び伸びして笑顔が見れて良かった。先生方も日々大変で神経をすり減らしておられると思いますが、子供の笑顔を守ってあげて下さい。私も出来る限りの協力をさせていただきます。

4 第2回学校評価委員会（中間評価）

(1) 意見交換

ここまでの学校の現状について説明し、教育活動や行事などの教育活動についての質問を受けた。9月のコロナ感染者による緊急引渡下校については、訓練をしていないなかでの実施になったが、運動場を駐車場に開放したことで職員の臨機応変な対応のおかげで混乱もなく無事終了した。しかし、保護者のなかでH&Sを見ていない方がいて、最終までにはかなり時間がかかった。PTAに確認をしたところ、表題の工夫と普段から見てもらうよう呼びかけることをすると改善するのではないかとのことだった。また、家庭でのオンライン授業の試行については高い関心があった。報道の影響も大きいと思われるが、本格的な運用はこれからということを確認した。

運動会については、アンケート結果と分析について示した。委員からは、昨年度は2部制でしかできなかったことを思えば、全校そろって開催できたことと、中止が続いていた音楽部の発表ができたことを素直に喜んでくださった。

アンケートの内容についても、学校が工夫して子どもたちの指導にあたっている姿が見られ、種目についてもコロナ対策を講じたものが工夫されていると褒めていただいた。それが保護者の好意的な反応に表れているのではないかとと思われるとのことだった。

2学期後半は、コロナ感染症の影響が落ち着いていたこともあり行事が中止になることは比較的少なく、修学旅行等が実施できた。それでも健康安全のためには中止もやむを得ないこと、リモートを使って対応していることに好意的にとらえていただいた。

(2) 問題点と課題

新栄地区(校区の南東端)からの通学路をつけかえる提案を地区の方から受けている件、牛山校区のなかの通学路を中心にグリーンペイントを施すための要望を学校・PTA・牛山校区見守り隊・牛山区長と検討している件、こども110番の家の表示を新しい物に付替えるためPTA、牛山校区見守り隊の協力を得て取り組んでいる件、新型コロナウイルス感染症か

らのストレスのためか虐待が毎月のように発生している件が話題になった。交通安全に関してはぜひ積極的に進めてほしいという意見をいただいた。春日井から小牧への抜け道になっていて、児童の登下校や普段の生活にも大きく影響していることは十分理解してくださっているようだ。虐待については、新型コロナウイルス感染症のためにイライラが募ってきているのではないかという感想があり、今後も注意深く見守ってほしいとのことだった。

3学期は学校評価に向けて、職員の自己評価と職員と保護者のアンケートを実施する旨伝え、第3回の学校評価委員会では意見をお願いすることを確認した。

5 職員の自己評価

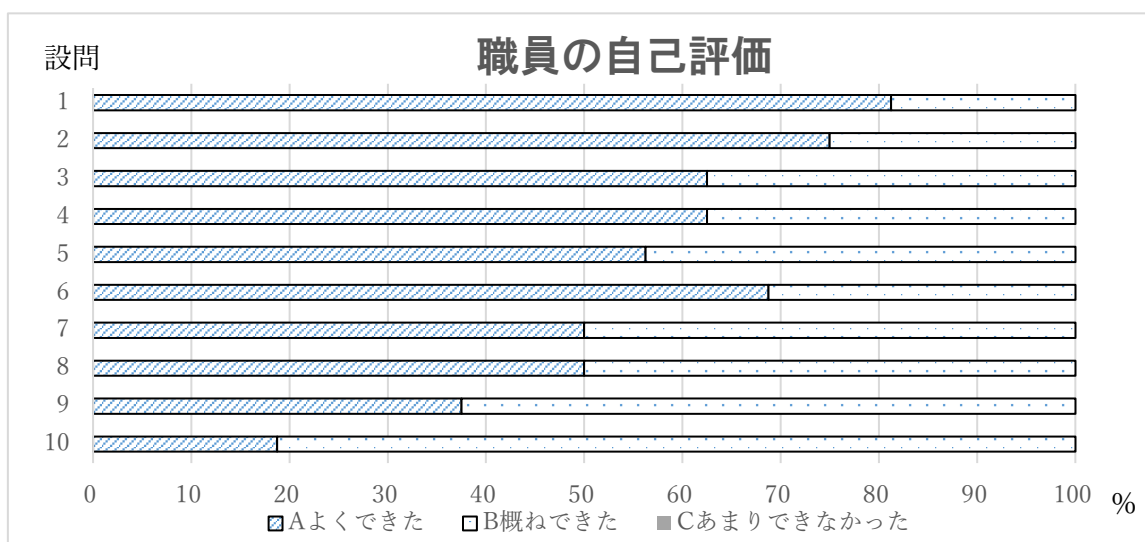
(1) 自己評価の実施

目標を設定し、実践、自己評価するという一連のサイクルで実施するため、毎年、行っている教職員評価の自己申告・評価シートで分析する。対象は、担任を中心とした職員16名である。職員は、学習指導や生徒指導、校務分掌などについて、年度初めに1年間の目標と達成度を決め、実践等に取り組む。さらに、年3回行ううち、時期的に2回実施した児童向けアンケートの回答状況や教育相談の実態を把握したうえで、この自己評価を行うことになっている。

項目と結果は下の通り。

<評定の項目>

Ⅰ 学年・学級経営	1. 学校教育目標実現のために、学年や学級での具体的な目標を立てて実践した。
	2. 児童・生徒や保護者から信頼されるような学年・学級経営に取り組んだ。
Ⅱ 学習指導	3. 教育課程をもとに、児童・生徒の実態に応じた学習指導の目標を設定した。
	4. 児童・生徒理解、教材研究に努め、児童・生徒の学習意欲を高めた。
	5. 児童・生徒の学力を向上させるために、授業を工夫・改善した。
Ⅲ 児童・生徒の指導	6. 児童・生徒の個性、特性、生活環境等を理解して、個に応じた指導を行った。
	7. 基本的生活習慣、道徳的心情、規範意識、判断力等の育成に取り組んだ。
	8. 生活・生徒指導や進路指導等において、家庭や関係機関と連携を図り、適切に対応した。
Ⅳ 校務の処理	9. 学校経営の円滑な推進のために、校務分掌・事務等を適切に行った。
	10. 期限を守り、正確で間違いのない仕事を行った。



(2) 自己評価の分析

全体にどの項目もCは0%であるので、概ね達成しているにとらえていいようだ。ただし、Aについては項目によってばらつきがあり、自信をもって「よくできた」とは言えないものもあるようだ。

1・2の学年・学級経営については80%前後がAである。職員の意識の高さが表れていると思われる。学校のために学級経営や学年経営に力を入れてきたことが表れている。おかげで牛山小学校は全体的に落ち着いていると思う。

3・4・5の学習指導については、60%前後がAである。クロームブックの導入が始まったばかりで、活用については職員もまだこれからという段階なのだろう。今年度も基本的な使い方については現職教育で確認済みである。そこから各自が創意工夫をして発展させるには時間が必要ということだと思う。今後の課題である。

6・7・8の児童の指導については、6は70%近くがAで7・8は50%だった。個に応じた指導については心を砕いているものの、実際の指導には難しさを感じているのかもしれない。生徒指導上の定石を学び、臨機応変に対応する力量の向上が課題である。

9・10の校務の処理については、9が40%弱がAで、10は20%弱となっている。学校経営自体が滞ったことはなく、適切に運営されているが、職員の意識が高く、課題を感じていると思われる。提出期限などについても本校はかなり守っている方だと思うが、そうではない職員も確かにいる。働き方改革とあわせ一層の行事の工夫や職務の精選を進めることによって、処理する時間の確保をすすめたい。

6 職員と保護者のアンケート

(1) アンケートの実施

これまで保護者に毎年実施してきたアンケートに継続性をもたせるため、今年度も同じ設問で回答していただいた。そして、その結果と比較ができるように、今年度は職員にも同じような観点の設問を用意し、アンケートを実施した。

①保 お子様は学校に楽しんで行けていますか？職 行事など学校生活を楽しんでいると思いますか？

1 毎日楽しんで行っている

1 毎日楽しんでいる

2 だいたい楽しんで行っている

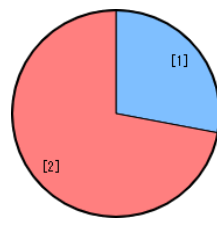
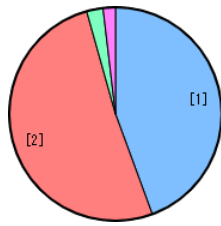
2 どちらかというと楽しんでいる

3 どちらかというと楽しくなさそうである

3 どちらかというと楽しくなさそうである

4 よくわからない

4 よくわからない

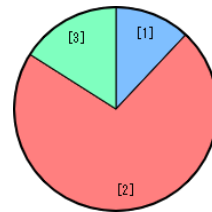
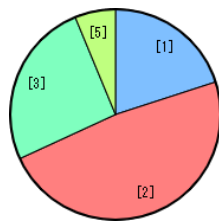


②保学校の授業についてお子様はどのように感じ
ていますか？

- 1 わかりやすく楽しい授業が多い
- 2 おおむねどの授業もわかりやすい
- 3 教科によっては、わかりにくい授業がある
- 4 ほとんどの教科がわかりにくく楽しくない
- 5 子どもがどう感じているかわからない

職学校の授業について、本校の重点目標を
理解した実践をしていますか？

- 1 十分理解して授業実践に取り組んでいる。
- 2 おおむね理解して取り組んでいる
- 3 教科によって取り組んでいる
- 4 ほとんどの教科で取り組んでいない
- 5 理解しておらず、実践もしていない

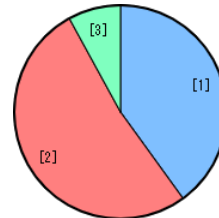
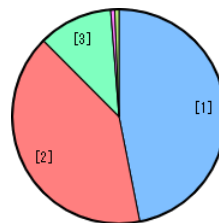


③保教師はお子様のことをよく理解して指導に
あたっていますか？

- 1 よく理解し親身になって指導している
- 2 おおむねよく理解して指導している
- 3 理解していないと感ずることがある
- 4 理解が足りないと感じる
- 5 よくわからない

職学生活について、子どもたちの心情や
環境を理解して指導にあたっていますか？

- 1 よく理解し親身になって指導している
- 2 おおむねよく理解して指導している
- 3 場面によっては理解していないと感ずる
- 4 理解が足りないと感じる
- 5 よくわからない



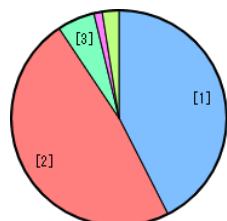
④保学校は子どもの安全や健康に十分配慮をして
いると思いますか？

- 1 十分配慮している

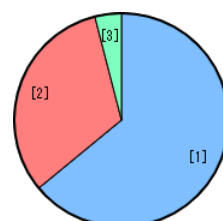
職子どもの安全や健康について、十分
配慮をしていますか？

- 1 十分配慮している

- 2 おおむね配慮している
3 もう少し配慮があるとよい
4 配慮が足りないと感じる
5 よくわからない

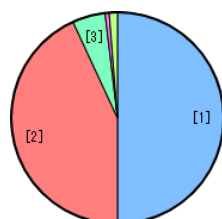


- 2 おおむね配慮している
3 もう少し配慮があるとよい
4 配慮が足りないと感じる
5 よくわからない



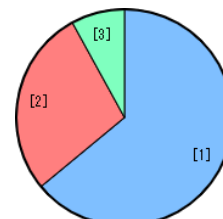
⑤ ☐ 保 学校は保護者からの連絡・相談に適切に対応
していますか？

- 1 十分対応している
2 おおむね対応している
3 場面によっては適切に対応していない
4 適切に対応していない
5 よくわからない



☐ 職 保護者からの連絡・相談につちえ、
適切に対応していますか？

- 1 十分対応している
2 おおむね対応している
3 場面によっては適切に対応していない
4 適切に対応していない
5 よくわからない



ご意見・ご感想

いつも大変お世話になっております。☑回もｺﾏなどの感染対策に十分配慮してくださりありがとうございます。☑回、風評被害等と心配され、どの学年で流行り病がでているのか、わかりません。流行り病が心配される期間だけでも、学年で結構ですので、欠席される児童がいる場合は、詳細を知らせていただきたいです。☑つも家庭でも配慮はしていますが、更に注意、配慮の必要ができ、警戒できます。☑からの従いと思いますが、大切な事だと思います。☑忙しいなかですが、是非検討をよろしく願いいたします。☑年度の運動会は、よかったです。☑後も今年度のような、形で、おこなっていけるとありがたいです。

コロナ禍で仕方ないが、おはぎまつりは今後も出来る限り続けて頂きたいです。☑年生のハーフ成人式にちなんだ10年後の自分への手紙など、他学校で取り込んでいる行いを検討してもらいたい。様々な行事がなくなる中、他に出来る思い出作りを増やしてもらえると親としてもありがたいです。

授業参観、発表会すべて中止☑延期にするなり人数制限するなり工夫できることがあったはずです。☑何でもかんでも中止にすればいいわけではないと思います。☑変不満でした

Todo esta muy bien muhisimas gracias (Google翻訳すべてがとても良いですありがとうございました)
コロナ禍で行事が中止となり、学校での子供の様子が見られないのが残念です。☒ホームページの情報が子供との会話に繋がっています。☒
コロナの感染者が校内で増えてきているので、日常的にも消毒などを徹底して欲しいなと思います。☒マスクをきちんとつけてない子が多数いると聞いています。鼻だし等☒スクをしていれば、濃厚接触者から外れますが、きちんと付けてるかもあやしいため、心配です。
延期、分散するなどして、学校行事を行ってほしい。
教育活動と直接関係ないことですが、コロナ感染症について書かせていただきます。☒不織布マスクが感染予防に効果的であることは、周知されていることですので、なるべく不織布マスクの着用をお願いしたいです。☒ワクチン接種が承認されましたが、副作用の心配や疾患がある場合、未接種になることも考えられます。接種もいつになるか、わかりません。オミクロン株は、軽症と言われていますが、後遺症のことも考えると、侮れません。☒校側からは、なかなか保護者へお願いしづらいと思います。☒日井市に無償提供を依頼し(全春日井市立小学校)、配布されれば、不織布マスクの着用が増え、少しでも感染拡大を抑えることが出来るのではないのでしょうか。
コロナ禍の中、学校全体での運動発表会を開催してくださり、ありがとうございました。行事が縮小される中、我が子が友達や先生と楽しそうに活動している姿を見ることができて嬉しかったです。
運動会の時に得点表が大きく、正面の一番いい場所にあるため、子どもが見にくかった。場所を変えるか、上から吊り下げるなどできないかと思ったので、検討していただけるとありがたいです。☒2年生の玉入れ前の踊りの立ち位置が4面あるうちの1面がすごく見づらかったので、角度を45度変えるなど平等に見えるようにしてもらえるとありがたいと思いました。☒コロナ禍で大変な中、いろいろと考えてやっていただけていること大変感謝しています。☒業参観もなくなり、唯一の学校での子どもの様子を見れる運動会でしたので、勝手なことを言って申し訳ありませんが、よろしくお願いします。
地区委員ですが、☒脇と市塚がかなり人数が減ってきたので、☒員をやったことがある人ばかりになってしまいます。☒供の多い地域との役員経験回数の差が激しすぎると思います。☒併させてほしいです。
卒業式についてですが☒コロナ禍でいろいろ気をつけなければいけないとは思いますが☒年の卒業式は☒人の子だけがたくさん言葉を発する式で☒の子の保護者の方はとても感動しているのかもしれませんが☒の数人だけというのがとても残念でした☒生に一度しかない卒業式です☒れぞれ自分の子供の勇姿を楽しみにしているのです☒コロナ禍なのは十分承知をしています。☒れでも一生に一度です☒業生全員に心に残るすばらしい卒業式になるよう☒うかよろしくお願い致します。
特にありません。☒6波来ちゃいましたが、何とか乗り越えていきましょう。☒生方も大変ですが宜しくお願いします。
通学路が歩道がなく道幅も狭いため、車との接触事故になりかねないか心配しています。車同士ではすれ違えない為、早く抜けようとスピードを出す車をよく見かけます。グリーンラインなど、目視で通学路である事がわかる様な対策をお願いします。

コロナ禍の中、学校全体での運動発表会を開催してくださり、ありがとうございました。行事が縮小される中、我が子が友達や先生と楽しそうに活動している姿を見ることができて嬉しかったです。
地区委員ですが、☒協と市塚がかなり人数が減ってきたので、☒員をやったことがある人ばかりになってしまいます。☒供の多い地域との役員経験回数の差が激しすぎると思います。合併させてほしいです。
学年を越えての交流があるので、学校全体が仲良くとても良いように感じます。ただ、四年生の子供が学年レクがもっとあるといいのに、と言っています。☒頃、放課の時間に遊ぶのは、自分達の知っている慣れた遊びしかないが、レクで遊ぶのは日頃と違う遊びのため、新鮮で楽しいみたいです。☒コロナ等で授業日数やカリキュラムが大変な中、そんな事までしていただいているのか、と保護者的には大変嬉しく思いました。
下校について、☒学年が同じ時間で、一斉下校ではない場合、一年生から下校させて頂きたいです。
HPに子供たちの様子をもっと載せて欲しいです。
なかなか学校に行けない状況の中で、学校での様子などが気になるころ個人懇談の際に丁寧に学校生活全般における様子を教えていただき、お忙しい中で今まで以上にみんなのことを気にかけていただいているのは本当にありがたい事だと感謝しかありません。☒生方も心と身体を元気に保っていただきたいとお祈りいたします。
いつも生徒や保護者に対して気を遣いながら指導してもらってとても感謝しています。ありがとうございます。☒年に引き続き今年度もコロナ対策として色んな行事が中止になる中、対応や配慮など大変だったと思います。☒人はもちろん、子ども達もこの2年という長い間我慢を強いられ実体験というものからかなり距離を置かれてると感じています。☒どものその時その時でしか感じられない感性や動き、またマスク越しでの表情の読み取りをするストレス、この先の成長に不安があります。☒策は大事かもしれませんが、果たしてそれで子ども達の心の健康は守ることができているんでしょうか？☒ロナで亡くなった小学生以下は4人です。いずれも、重度の基礎疾患の発作によるモノ、また交通事故で入院する時などに検査をしたら陽性だったというものです。☒症化についても同じです。☒年流行っていたインフルエンザでは幼い子どもが亡くなるケースが沢山ありました。しかし対策は手洗いというのみのみ、クラスに多数発症している人がいれば学級閉鎖となっていました。☒の違いは何ですか？☒生方も教育委員会や市のからの指示に従う他無い事も理解していますが、現場の先生が1番生徒に近い存在です。☒っときちんと数字を見て比較して子ども達に正しく情報を伝えていただき、怯えて生活する事ではなく、食生活など具体的な事を指導してもらい本当の意味での免疫力アップを目指して心身の健康に努めるような教育をしてもらいたいと思います。
いつもありがとうございます。
新型コロナの関係で仕方ないことではありますが、学校行事がなくなり、子供の様子を見る機会が無いことがとても残念です。☒ 2年生ですが、この2年間、運動会以外の授業参観が一度もないのは、どうかと思います。☒年間行事で予定しているのは分かりますが、感染が収まっているときに計画するなど、臨機応変であっていいのかと思います。
休校により授業の遅れもあるかと思いますが、楽しみにしていた校外学習も無くなったので、感染が落ち着いた時期に、可能な場所へ可能な行程で代替行事が行える事をご考慮いただき、実行できる事を、親子で望みます。

それほど規模の大きくない学校ということもあるかもしれませんが、先生が子どものことをよく見てくださっていると感じています。先生の愛情も感じますし、幸せな学校生活を送れていると思っています。ありがとうございます。☑人懇談での話も、家庭で子どもと取り組むべき課題も理解しやすく、ありがたかったです。☑だ、タイミングの問題ではありますが入学以降まだ授業参観がないことは残念に思っています。今年度はもう難しいかと思いますが、来年度は実施されることを希望しています。

今回はコロナで休校があり、あらかじめ休校になった場合のプリントや課題を準備して自宅に保管して備えるのもひとつ手だと思います。☑理カウンセラーの先生と不登校や必要な子供との交流が必要だと思います。

(2) アンケートの分析

設問①は、(1)(2)の肯定的な回答については、概ね保護者は肯定的にとらえており、95%となっている。しかし、(3)(4)の否定的な回答は4%ほどおり、全く問題がないわけではないことがわかる。いじめや不登校について今後も注意深く指導していく必要がある。

設問②は、設問が直接対応しているわけではないので、一概には言えないかもしれないが、保護者の(3)の否定的な回答が約26%と多い。職員も16%と比較的多い。授業や教科指導の難しさが表れているようだ。(3)を減らしていくことが今後の課題となるだろう。

設問③④⑤は、(1)(2)の肯定的な回答については、保護者は85%強が肯定的にとらえてくれている。概ね評価してくれていることがわかる。しかし、(1)に限定すると保護者の方が若干厳しいだろうか。(3)などの否定的な評価は同じぐらいである。保護者も職員も若干の不安を抱えている姿が浮かび上がる。特に④はオミクロン株と思われる新型コロナウイルスの感染が本校でピークに近くなったときに実施したことが大きく影響しているかもしれない。

フリー記述については、概ね学校の教育活動に理解があり、好意的に評価していると思われる。授業参観の中止が続く残念であること、PTA地区委員の地区割についての意見、交通安全を心配する旨が今後の課題である。

7 職員の年度末反省より

(1) 教育目標・重点努力目標

「不登校」「いじめ0」など、毎月の朝会で全校に話をしたり、人権週間や標語の取組をしたりと、様々な場面で学校一丸となって取り組めた。学級担任が問題を抱え込まず、全職員に共通理解を図る場があったこともよかった。

- ・教職員にとっても健康で働きがいのある魅力ある職場にするために、業務内容の見直しを来年度も行いたい。

- ・児童の健やかな成長のため、教職員が共通理解を図り、組織的に対応していく。

(2) 教科指導・総合的な学習の時間・情報教育

感染拡大防止の観点から様々な制限があったが、年間計画指導計画の順序を変更し、感染防止対策を行いながら学習指導を行うことができた。ただ、話し合い活動などの取り組みをどのように行ったらよいか困った。外国語のペア活動も制限が多く、不自由した。子

どもたちはタブレットP Cの扱いに慣れてきた。

- ・感染症対策のレベルはその都度変更するため、教科によっては状況に合わせて学習を進める必要がある。また、感染レベルが厳しくなっていくことを踏まえ、学習ができるときに進めておく。
- ・高学年で教科担任制の本格導入が始まる。少人数指導と合わせて、児童の学力保障とともに職員の働き方改革を進める。
- ・総合的な学習の時間には福祉のテーマを入れる必要があるので、来年度は3年生の活動に福祉を入れる。
 - ・SDG s を柱に置くことは来年度も継続する。
 - ・教師の目が届かないところがあるので情報モラル教育に力を入れるべき。
 - ・家庭へ持ち帰ってどう使うかが課題。

(3) 特別活動

児童会活動としてはクロームブックを使つての交流やSU ロゴができたのがよかった。スタートの指示とゴールだけ示してあげて進めることは児童に任せてもよい。児童会活動はコロナ禍のなかでも充実していたが、SU（縦割班活動）は交流が難しかったので、ペア学年で対応した。

- ・委員会の構成は現状維持でいいのではないか。
- ・20分放課に児童会活動をしていると負担が大きい。何か工夫が必要だろう。
- ・SU はコロナ禍のなかではペア学年で対応していく。

(4) 学校行事

儀式的行事は制限が多かったが、参加人数の制限やリモートで感染対策を徹底した。就学時健診は全般にスムーズにできた。入学説明会は中止にした分を入学式で対応できた。宿泊行事も制限が多かったものの野外学習・修学旅行は実施できた。校外学習は制限が多く実施できないことがあった。運動会では音楽部の発表ができて大変好評だった。全校でできたのもよかった。

- ・入学説明会は保護者の不安を取り除くためにも可能であれば実施したい。
- ・校外学習ができない分は、外部講師や動画などを活用したい。
- ・運動会の入退場はこれからも簡素化し、紅白リレーは感染状況を見て決定する。

(5) 生徒指導

挨拶が消極的な児童が多いのが少し残念。言葉遣いが乱暴な児童が気になる。朝活日課を増やしたので教育相談に時間をかけることができた。いじめ・不登校については今年度も校内で緊密に連携して対応できたのがよかった。また、今年度は例年になく虐待案件が多かった。その都度子ども政策課とや児相と連絡し、適切に対応した。

- ・日常的に挨拶をしたりふわふわ言葉を使ったりできるように働きかけたい。
- ・今年度のように毎月の月目標の確認をクラスで行う機会があるとよい。
- ・12月の月目標は手洗いが当たり前なので、児童会の人権活動と関連付けて再度決め直した方がよい。

- ・報告・連絡・相談を緊密に行い、連携して対応していきたい。

(6) 健康教育・保健指導・給食指導・防災・防犯

新型コロナウイルス感染症対策のさわやかチェックは啓発活動としても効果があった。体重測定時の保健指導は効果的だった。給食時の黙食は徹底できた。アレルギー対応給食も連携して対応できた。避難訓練は紙上での対応や学年別に行って対応した。防犯訓練は動画視聴で対応した。引渡下校は訓練なしでも対応できた。

- ・学校保健委員会が開催できなかったので次年度に改めて開催する。
- ・防犯訓練は夏に行うとよいのではないか。
- ・引渡下校は運動場への車の乗り入れで対応する。

(7) 交通安全

毎年、通学路点検を行い、見守り隊（オレンジベスト）や住民と緊密に情報交換・対応をしているが、今年度は、通学路の付替え検討、こども 110 番の家の表示の交換・グリーンペイントの陳情を行った。その際、PTA、保護者、牛山区見守り隊、地区の議員と現地を何度も歩き確認した。市役所の担当課や春日井警察とも情報交換を行った。

- ・本校は比較的ヘルメットを着用しているが、今後も呼びかけを欠かさない。
- ・今後も地域の方々やPTAなどと情報交換を継続し子どもの安全を図りたい。

(8) PTA・家庭地域との連携

中止になる行事が多かったが、可能な範囲で活動を行った。地区ごとの子ども（家庭）の偏りが大きいので、委員の選出に支障が出始めている。

- ・コロナ後もそのまま復活するのではなく、行事の精選を行いたい。
- ・地区委員については地域の合併を検討する必要がある。

8 第3回学校評価委員会（評価）

(1) 意見交換

学校の現状について説明し、教育活動や行事などの教育活動についての質問を受けた。

委員からは、1年を通してこのコロナ禍のなか教師たちが何とか授業や行事をしようと努力していることに肯定的な理解を得たと思う。指導の仕方も変更するなど仕事も増えて大変だろうということが学校評議員に出席するようになってわかってきたとのことだった。そして、これからもできる限り授業や行事が実施できるよう頑張ってもらいたいとの励ましをいただいた

それから、タブレットPCやネット環境を使ったりリモートによって、授業や行事、式典が実施できることにも肯定的な感想があった。そして、先生たちがさらに効率のよい授業の仕方や行事の開催方法につなげられるとよいとのことだった。

他にも、この評議員会で給食を試食してみて、自分たちのときよりもおいしくなっていたという感想や、音楽部が発表の場を限られて残念ではあるが運動会のときに発表できたことを素直に喜んでくださる姿があった。また、通学路をPTAや見守り隊（オレンジベスト）、そして、牛山区と一緒に点検したり、道路にグリーンペイントを施すよう働

きかけたりしたことにも理解を示していただいた。

(2) アンケートの結果と分析

それから、学校の自己評価と職員・保護者のアンケート結果を示した。結果については概ね肯定的な評価を得た。

しかし、アンケートの職員への質問は保護者と同じでいいのではないかという指摘があった。似たような質問にしているのはわかるが、直接比較するなら同じ文言の方が良いと思うということだった。もっともなことであるので、次年度の参考にしたい。

また、目標設定-自己評価の到達度について数値化が必要ではないかという指摘もあった。これについては各自で数値化した自己評価をもとにしていること、児童の自己評価についても職員が把握したうえで回答していることから、直感や教師の独断ではなく根拠のある数字になっている旨説明をして理解していただいた。

また、若干ながらも否定的な回答もあったので、これらの改善を図っていくことが今後の課題であることも確認した。具体的な方策については、保護者との緊密な対話とともに、5の自己評価の結果と7の職員の年度末の反省の結果で明らかになった方向性を共有し、職員の各研究の課題として取り組んでいくこととしたい。

9 おわりに

新型コロナウイルス感染症の流行下で、学校が一丸となって感染予防に心を砕き、授業や行事等ができる限り実施していこうとしている姿勢は理解されたのではないかと思う。そして、そのための手段として、タブレットP Cやネット環境を利用して実施したり、効果を高めるよう工夫をしていることにも好感を持っていただけたと思う。また、それと並行して働き方改革にも取り組まなければならない、意味のある行事の精選と工夫について成果をあげていると思う。そして、これからもコロナ感染症の状況いかにかわらず、次年度もこれらの観点から質の高い教育を目指していくことが確認できた。